

< 評価表 > ※評価機関・ホーム共用

ホーム名	大阪(ゆうゆうの里)	開設日	S60.10.1
評価機関	(特非) あい・ライフサポートシステムズ	評価受審日	H29.2.2

評価シートNo. 1

No.	項目名	自己評価	機関評価	No.	項目名	自己評価	機関評価	
1 運営主体の姿勢	1.1.1 経営姿勢の周知	A	A	設備	3.1.4 車いすでの移動	A	A	
	1.1.2 経営における社会的責任	A	A		3.1.5※ 相部屋でのプライバシー配慮	非	非	
	1.1.3 コンプライアンスへの取り組み	A	A		3.1.6 共用施設の設置	A	A	
	1.1.4 法人の事業計画策定	A	A		3.1.7 来訪者との談話スペース	A	A	
	1.2.1 財務状況の改善・向上	A	A		4 生活サービス	4.1.1 生活相談業務	A	A
	1.2.2 資金管理	A	A			4.1.2 小口現金の管理	A	A
	1.2.3 資金管理の内部統制	A	A			4.1.3 生活利便サービスの実施	A	A
	1.3.1 事業関連情報の共有	A	A	4.1.4 外部からの生活サービスの導入		A	A	
	1.3.2 個人情報保護義務	A	A	4.2.1 コミュニケーション		A	A	
	1.3.3 個人情報の管理	A	A	4.2.2 アクティビティの計画的な実施	A	A		
	1.4.1 職員の育成	A	A	5 食事サービス	5.1.1 バリエーション	A	A	
	1.4.2 職員の評価・報酬	A	A		5.1.2 入居者のニーズの反映	A	A	
	1.4.3 人事考課	A	A		5.2.1 摂食支援	A	A	
	1.4.4 職員のモチベーション維持	A	A		5.2.2 疾病に対応した食事の提供	A	A	
	1.4.5 職員の就業状況への配慮	A	A		5.2.3 適温での提供	A	A	
	1.4.6 中間管理職の役割	A	A	5.2.4 個別の食事管理	A	A		
	1.4.7 資格取得への支援	A	A	5.2.5※ 口腔ケアへの取り組み	A	A		
	1.4.8 入居募集に係る職員への指導	A	A	6 ケアマネジメント	6.1.1※ 介護の提供方針	A	A	
	1.5.1 入居者の権利擁護	A	A		6.1.2 接遇上の配慮	A	A	
	1.5.2 権利擁護に係る外部との連携	A	A		6.1.3 介護保険の制度説明	A	A	
1.5.3 虐待防止への組織的対応	A	A	6.2.1※ ケアマネジメントの実施		A	A		
2 ホームの運営方針	2.1.1 運営理念の周知	A	A		6.2.2※ 個別アセスメントの実施	A	A	
	2.1.2 ホームの事業計画の策定・評価	A	A		6.2.3※ ケアプランの作成	A	A	
	2.2.1 見学受け入れの姿勢	A	A		6.2.4※ 暫定ケアプランの作成	非	非	
	2.2.2 体験入居への取り組み	A	A		6.2.5※ ケアプランの見直し	A	A	
	2.2.3※ 入居条件の緩和	A	A		6.2.6※ ケース会議等の開催	A	A	
	2.2.4 募集関係書類内容の整合性	A	A		6.2.7※ ケース会議等の個人情報利用	A	A	
	2.2.5※ 契約関係書類の開示時期	A	A	6.2.8 家族等との連携	A	A		
	2.2.6 特定施設利用契約の説明時期	A	A	6.2.9 身体拘束廃止への取り組み	A	A		
	2.2.7 利用料改定方法	A	A	6.3.1※ 職員の技術向上	A	A		
	2.2.8 契約解除に係る入居者保護	A	A	6.3.2 職員の認知症介護技術向上	A	A		
	2.2.9※ 保全措置	A	A	6.3.3 サービス評価の実施	A	A		
	2.2.10※ 短期解約特例	A	A	7 ケアサービス	7.1.1 健康管理	A	A	
	2.2.11 原状回復取扱規程	A	A		7.1.2 緊急通報装置への対応	A	A	
	2.3.1※ 要介護者等への職員配置	A	A		7.2.1 閉じこもりの予防	A	A	
	2.3.2※ 夜間の職員配置	B	B		7.3.1※ 個別ケア(入浴)の実施	A	A	
	2.3.3 サービスの質向上への取り組み	A	A		7.3.2※ 入浴介助時のプライバシー配慮	A	A	
	2.3.4 ニーズの把握	A	A		7.3.3 入浴環境の整備	A	A	
	2.3.5※ 運営懇談会の開催	A	A		7.3.4※ 入浴介助中の事故防止対策	A	A	
	2.3.6 ホーム運営状況の報告方法	A	A		7.4.1※ 個別ケア(排泄)の実施	A	A	
	2.3.7※ 介護保険会計との区分	A	A		7.4.2※ 排泄介助時のプライバシー配慮	A	A	
2.3.8※ ホーム以外の事業会計との区分	A	A	7.4.3※ おむつ交換の実施		A	A		
2.3.9 社内の苦情処理体制	A	A	7.4.4※ 臭気への配慮		A	A		
2.3.10 社外の苦情処理体制	A	A	7.4.5 排泄介護用品の選定		A	A		
2.3.11 損害賠償	A	A	7.5.1※ 褥創予防		A	A		
2.4.1 金品授受の取扱い	A	A	7.5.2※ 寝・食分離への取り組み	A	A			
2.4.2 業務マニュアルの策定・見直し	A	A	7.5.3 福祉用具の選定	A	A			
2.4.3 事故防止への取り組み	A	A	7.5.4※ 館外での介助	A	A			
2.4.4 感染症予防の取り組み	A	A	7.5.5※ 機能訓練の実施	A	A			
2.4.5 災害対策マニュアルの整備	A	B	7.5.6 居住環境の整備	A	A			
2.4.6 防災訓練の実施	A	A	7.5.7 他の入居者との関わりへの支援	A	A			
3 建物	3.1.1 バリアフリー	B	B	7.6.1 医療受診環境の確保	A	A		
	3.1.2 緊急通報装置	A	A	7.6.2 家族との医療面での連携	A	A		
	3.1.3 安否確認の実施	A	A	7.6.3 服薬管理の実施	A	A		

注意: 上記のスケールNo. に【※】印が付されている項目は、ホームの事業内容によって【非該当】との選択肢がありうるものである。(詳細は、評価プログラムを参照)

<評価結果所見書>

※評価機関記入

評価シートNo. 3

受審ホーム名 大阪〈ゆうゆうの里〉

評価機関名 (特非) あい・ライフサポートシステムズ

優れた取り組みと思われる点

スケールNo.	
1-4-8	消費者保護に係る関係法規について、法人で行う研修の講師が出来る職員が募集を担当しています。指導を行うとともに、以前からのサービス内容や関係書類を見直し、入居希望者の分かりやすい説明を行うことで、納得がいく契約に繋がっています。
2-2-6	入居条件の一つに「契約時に身の回りのことがご自分でできる程度に健康な方」という条件があるため、入居契約時に特定施設利用契約を締結される方はいないが、その内容は十分に説明しています。さらに「介護座談会」を年3回開催して、介護保険や介護サービスの利用などについて説明及び疑問を聞く機会を設ける事で、将来的に介護が必要になった際のサービスの内容などに不安を持たれないような取り組みになっています。
2-3-9	入居者の苦情については、「相談責任者」を8名置く体制をとるとともに、「相談受付票」に記載された苦情がどのように解決に向けて進んでいるかの進捗確認を月1回行い、迅速な苦情解決をするよう心がけています。苦情に対応を処理した記録が時系列にまとめられており、職員同士で情報が共有できるようになっています。また常に職員から入居者に挨拶や声かけをすることで、入居者からも小さな相談でも気軽にできるような雰囲気になっており、あまり苦情とまでは発展していないのが現状です。
4-2-2	アクティビティ一覧が作成され、多種多様なレクリエーションの年間計画が立てられています。入居者の誕生日には、食事部門と生活サービス部門からの企画があり、「お誕生会」の開催や職員の作成した「バースディカード」が贈られ好評を得ています。秋には「一泊ツアー」が実施されていますが、その企画は入居者がミーティングをして候補地を挙げ、投票、結果発表というかたちで行われ、毎回皆さん楽しんでいます。また、レクリエーションの実施後にはアンケートを取り、次回に活かされる工夫がされています。
7-5-3	車いすやポータブルトイレなどの福祉用具が必要になった時は、職員がきめ細やかに相談に乗るとともに、選定後も使いやすさはどうかなどモニタリングを行っています。車いすの購入については、入居者の要望や状態に合った物を事業所が負担しています。

改善を要すると思われる点

スケールNo.	
2-4-5	自然災害に対しての災害対策マニュアルが定められていますが、食料の備蓄が食堂の食材を充てているにとどまっており、ライフラインが止まった時に調理して食事を提供できないリスクが考えられます。できれば、(最低限の)調理を必要としない非常食や水など、備蓄品リストを作成し管理される事を検討されてはいかがでしょうか。

その他の所見

--